

松目新田と原の茶屋

富士見の景観

松目新田の名取五右衛門は、心学を学んで松目の村人などに講じた。講舎は、文化7年(1810)に京都明倫社から「時中舎」と認められた。以来、道徳心は培われ受け継がれている。

明和9年(1772) 松目新田の名取与兵衛が、甲州街道の原に出てお茶屋をはじめた。そこから原の茶屋の村は始まる。この辺りの街道は、昔はもう少し西側を通っていたが、ぬかるんで、通行に苦しんだ。そこで、松目の村人が、天明元年(1781)に、現在の道へとうつし歩きやすくした。完成記念の大きく立派な碑「三面六臂の馬頭観音」は、今も原の茶屋村の南にある。

旅人は、茶屋のもてなしと、美しい眺めに旅のつかれを癒してもらい、次の宿場へと向かったのであろう。

【選定・評価
加々見一郎氏】



街道の先にお茶屋があったという



現在の「時中舎」

富士見町民憲章

わたくしたちは、秀麗富士を望み、雄大な八ヶ岳と眺望豊かな入笠山にいだかれた高原の町、富士見町民です。この限りなく美しく、厳しい自然の中に住むわたくしたちは先人の心を受けつぎ、自然を愛し、豊かな調和のとれた田園の町の発展をめざして、この町民憲章をかかげます。

- 一 かけがえのない自然を守り、育てていく町民となろう。
- 一 心身を鍛え、明るく健康な町民となろう。
- 一 教養を高め、香り高い文化を創造する町民となろう。
- 一 仕事に誇りを持ち、産業の発展につくす町民となろう。
- 一 思いやりの輪をひろげ、住みよい郷土をつくる町民となろう。

広告

「広報ふじみ」、町ホームページの「町民のページ」で有料広告を募集しています。詳しくは、<http://www.town.fujimi.lg.jp/index3.html>の「新着情報の一覧を見る」をご覧ください。

広告媒体	単位等	広告料
広報ふじみ	下1段(縦50ミリメートル、横175ミリメートル)	1回 5,000円
町のホームページ(町民のページ)	トップページ(縦60ピクセル、横150ピクセル)	月額 5,000円

- ◆町の人口と世帯数 平成26年12月1日現在(前月比)
住民基本台帳人口 男性/7,397人(+4) 女性/7,721人(+3) 合計/15,118人(+7) 世帯/5,860世帯(+1)
- ◆発行日 平成27年1月1日
- ◆編集・発行 富士見町役場 総務課 〒399-0292 長野県諏訪郡富士見町落合10777 TEL0266-62-2250(代) FAX0266-62-4481
- ◆ホームページ <http://www.town.fujimi.lg.jp> Eメール fujimi@town.fujimi.lg.jp ◆印刷 (有)富士見印刷